

「太陽と地球の大きさ比較モデル教材」の紹介

元 東京都立八王子盲学校(現 筑波大学附属視覚特別支援学校)

柴田 直人

以前に、附属盲学校（附属視覚特別支援学校）の間々田和彦先生が紹介されていた教材を参考に、太陽と地球の大きさを比較することのできるモデル教材を製作した。太陽の直径には、地球が約 109 個整列できることを、太陽の平面図と比較しながら、触察や観察によって確かめることができる。

材料は、直径 5mm のスチール球（地球のモデル）、木材（写真左上）または厚紙（写真右上）、接着剤である。しっかり触ってもスチール球が外れないように作成したため、授業中に生徒がじっくりと触ることができ、本当に 109 個のスチール球があるのか、一つ一つ数えて確かめていたのが印象的であった。

なお、この教材を活用する前に、直径 5mm のスチール球（地球のモデル）1 個と、直径約 50cm のバランスボール等（太陽のモデル）で比較させておくと、体積の比較もでき、より分かりやすい。（写真左下、同右下）

